

## 2020 年度 事業報告（総括）

### 公1 鍼灸医学に関する研究の進歩普及を図るため、学術大会、支部学術集会などを実施する事業

- 1) 第 69 回（公社）全日本鍼灸学会学術大会（京都大会）の実施  
学会誌面による発表
- 2) 支部学術集会の開催
  - (1)北海道支部 : 新型コロナウイルス感染症拡大により開催できず
  - (2)東北支部 : 新型コロナウイルス感染症拡大により開催できず
  - (3)関東支部 : 新型コロナウイルス感染症拡大により開催できず
  - (4)中部支部 : 新型コロナウイルス感染症拡大により開催できず
  - (5)近畿支部 : 2020 年 11 月 23 日 : 明治東洋医学院専門学校 参加者数 97 名
  - (6)中国四国支部 : 新型コロナウイルス感染症拡大により開催できず
  - (7)九州支部 : 新型コロナウイルス感染症拡大により開催できず
- 3) 学術大会実行委員会への参加及び企画調整
- 4) 学術大会発表応募抄録の審査委員会の開催

### 公2 鍼灸医学の学術の向上と普及を図るため調査、資料収集を行う事業

- 1) 鍼灸の有用性・安全性・経済性に関する情報収集と発信
- 2) 国民のための鍼灸医療推進機構(AcuPOPJ)の活動参加
- 3) 鍼灸に関するエビデンスの社会的普及に関する活動への参画
- 4) 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介及び日本鍼灸関連の海外への紹介
- 5) WHO、世界鍼灸学会連合会（WFAS）、ISO その他国際機関の情報収集・調査・紹介

### 公3 鍼灸医学の学術の振興を図るための助成事業

- 1) 公募研究助成の継続

鍼灸学に関する研究の進歩普及を図り、学術の発展に寄与することを目的とする。

研究期間：2 年間（2019 年 7 月～2021 年 3 月）

予算総額：80 万円（2019・2020 年各年 40 万円ずつ）

#### 公4 鍼灸医学の発展普及を図るため学術雑誌などの発行や鍼灸医学の情報を公開する事業

- 1) 全日本鍼灸学会雑誌の発行：年4回発行(70巻2号～71巻1号)
- 2) オンライン英文雑誌の発行
- 3) 学会 Web サイトによる情報発信
- 4) メールマガジン、FAX マガジンの配信
- 5) 学術大会 Web サイトによる情報発信
- 6) 電子投稿システム (Editorial Manager) の運用
- 7) 鍼灸関係用語の収集・整理と日本鍼灸用語集の編集

#### その他の事業

学会が認定する認定登録鍼灸師を育成するため、学会在籍5年以上の正会員で、別に定める履修基準を満たしたものに、認定試験を経て認定証を付与する事業及び学会会員の優秀なる研究業績に対して表彰する事業

- 1) 認定登録者への認定証の交付 (2020年度は実施せず)
- 2) 高木賞選考委員会開催及び奨励賞1名に授与
- 3) e-ラーニングの構築

#### 会議など

- 1) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
  - (1) 入会審査の実施
  - (2) 支部活動の支援
  - (3) JLOM 部関連会議
  - (4) 鍼灸医学の啓発と普及：一般向けの公開講座、講演会の開催
  
- 2) 会務を円滑に運営するために次の会議を行う
  - (1) 通常総会：2020年9月12日(土) T K P 品川カンファレンスセンター新館
  - (2) 理事会：2020年4月26日(日) 他4回開催
  - (3) 常務理事会(業務執行理事会)：2020年11月
  - (4) 顧問参与会議：2020年度は実施せず
  - (5) 諮問委員会：2020年9月12日(土) T K P 品川カンファレンスセンター新館
  - (6) その他の会議
    - ① 支部運営委員会

- ② 選挙管理委員会
- ③ 予算検討委員会
- ④ 定款等改正検討委員会
- ⑤ 利益相反委員会
- ⑥ 国際シンポジウム委員会
- ⑦ 認定委員会
- ⑧ JLOM 部関連会議
- ⑨ AcuPOPJ 関連委員会
- ⑩ グランドデザイン 2020 総括ワーキンググループ
- ⑪ 懲罰委員会
- ⑫ 施術事故等緊急対策委員会
- ⑬ 鍼灸医療安全性連絡協議会
- ⑭ 各部委員会及び小委員会

3) 諸規程の制定及び改定に関すること

- (1) 諸規程の見直しと改正
- (2) 諸規程変更に伴う組織変更
- (3) 内閣府への報告